

【先-21】 公共施設等運営権を活用した公園施設整備等事業の 事業化検討調査 (対象箇所:岡山県玉野市)

【実施主体】玉野市

平成26年度

調査目的・これまでの経緯

玉野市都市マスタープランにおけるまちづくりの整備方針に基づき、現在の玉野競輪場に隣接する日之出公園の臨時駐車場用地を活用して全天候型自転車競技場を整備するにあたり、まちの賑わいに資するような公園施設として効率的かつ効果的に整備・管理運営する官民連携手法について検討し、事業化の推進に向けた実施方針をとりまとめることを目的とする。

- 平成23年 7月 全天候型自転車競技場建設案の立案
- 平成24年 1月 近隣自治体と共同利用検討協議会を設立
- 平成25年 3月 官民連携事業による事業化方針を確認
- 平成25年 9月 内閣府のPFI専門家派遣を活用

施設の概要

世界選手権レベルの大会誘致を可能とするUCI(国際自転車競技連盟)公認規格を満たす屋内型の板張り250m競走路による自転車競技専用の施設とし、隣接する競輪場の機能を活用することにより競輪の開催も可能な施設とする。



調査結果

1. 公園施設の管理・運営における採算性向上方策の整理

公園施設(運動施設)には、プロスポーツチームの本拠地として、多数の観客を集め、賑わいを醸成することにより、様々な採算性向上のための対応が図られており、その実態について整理するとともに玉野市の全天候型自転車競技場整備等事業への適用可能性等を検討した。

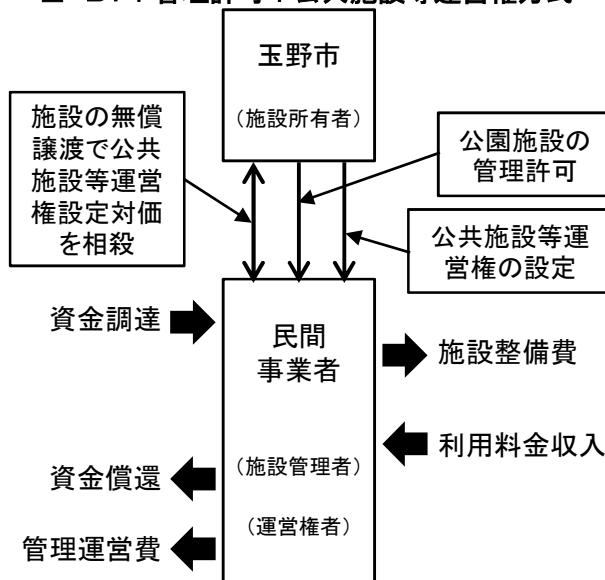
2. 公園施設の整備・管理・運営等における官民連携手法

民間事業者が自らの費用負担により公園施設を整備した後、公共施設等運営権設定対価として当該施設を玉野市に無償譲渡し、公共施設等運営権の設定を受けるとともに都市公園法に定める公園施設の管理許可を受け、公園施設の利活用を図りながら利用料金を自らの収入として收受する「BT+管理許可+公共施設等運営権方式」等について検討を行った。

3. 民間事業者の事業参画意向に係る調査

全天候型自転車競技場整備等事業における事業収支計画及びVFMを検討し、当該計画内容をもとに民間事業者の事業参画意向等について調査した。

■ BT+管理許可+公共施設等運営権方式



今後の展望

○今後の予定

- 平成27年 11月頃 実施方針策定
- 平成28年 1月頃 実施方針公表
- 平成28年度 民間事業者等募集

○事業化にあたっての課題

全天候型自転車競技場整備等事業の事業内容については、競輪の開催も可能な施設とするために競輪関係の各機関との協議調整が必要である。また、民間事業者による独立採算型の事業とすることにより、事業計画の検討段階から民間事業者の参画を図る必要もある。このため、今後、事業化に向けた手続きとして、市と共に事業推進に向けた協力者となるような民間事業者等の活用を図ることを検討する。